

ドライアイスで遊ぼう

ケーキなどについてくるドライアイスで遊んでみよう。氷屋さんでドライアイスを買っているところもある。

■材料・準備物

- ①ドライアイス ②ポリ袋 ③コップ ④ざる ⑤スプーン ⑥ジュース(なっちゃんなど)
- ⑦金槌 ⑧タオル

■遊び方

①手に持ってみよう。

マイナス79℃なので**ずっと持っている**と凍傷になる。お手玉のように、ころがしながらだと持てる。

②すべらせてみよう。

ちょっと押すと、テーブルの上をすべるように移動する。ホバークラフトが浮く原理と同じ。

③とけると水になるか。

1立方cmくらいのかけらを机の上において様子を見る。
とけて消えてしまう。水が残らないので「ドライアイス」
とよばれるようになったという。

④ドライアイスのコップの水の中に入れてどうなるだろう？

- ア しずかにとけて見えなくなる。
- イ とけてあわが出てくる
- ウ ドライアイスはとけない。



⑤気体をつかまえよう。

角砂糖くらいドライアイスのかけらをポリ袋に入れて口をしぼって閉じ込める。だんだん膨らんで、パンパンになる。体積は1000倍近くになるので、ポンと大きな音がして袋が割れます。

⑥シャーベットを作ってみよう。

- ア 炭酸の入っていないジュースをコップ3分の1入れる。
- イ にぎりこぶしくらいの大きさのドライアイスを手巾でくるんで金槌で小さく砕く。
- ウ ステンレスのざるでふるいにかけて「粉のドライアイス」を作る。
- エ 用意したジュースに「ウ」のドライアイスをスプーンで1～3ばい入れてかき混ぜる。
- オ けむりみたいな湯気が出なくなったらできあがり。

※これらの実験は必ず大人の人といっしょにやること！